

# なかよし

てんどうちゅうぶしょうがっこう  
天童中部小学校

いちょうがく級  
いちょう学級

R3.10.8

No.22

## 半年になりました！

先日は、お忙しい中、フリー参観及び引き渡し訓練にご参加くださりありがとうございました。さて、いちょう1組の子どもたちが入学して、あっという間に半年が経ちます。小学校生活にも慣れ、仲間とかかわる心地よさを感じながら、日々笑顔で過ごしている6人です。今号では、1年生後半を迎えた子どもたちの、伸び盛りな今をご紹介します。

登校後いつも、いちょう1組と交流学級の1日の予定とを見比べているAさん。ある日、いちょう1組の予定表を見て、「3校時、音楽じゃなくて図工って書いてたよ。」と教えてくれました。見通しをもっているのに、休み時間も時間を意識しながら、3校時が始まる前には交流学級に出発していきました。教師任せにするのではなく、自分で生活をつくろうとしているAさんの姿は、周りの子どもたちのお手本にもなっています。

友だちをよく見ているBさん。学習中、「〇〇さん、話を聞いてください。」と呼びかけることがあるのですが、逆に、「Bさん、話を聞こうよ。」と、友だちから声を掛けられると、教室の隅っこの行ってぶんぶんしてしまいました。次に、同じような場面になった時に、「そうだね。」と受け入れたBさん。担任も、思わず「ぶんぶんしている時よりもいい顔しているよ。」と耳打ちして以来、友だちの呼びかけに、素直に応じる姿が見られるようになってきています。

こうしたいなという願いが強いCさん。その分、自分の意にそぐわないことがあると、時には相手をたたいてしまうこともありました。「どうしたかったのかな？」と投げかけると、思いや気持ちを言い表すことができるCさんなので、その都度それを相手に伝える経験を重ねてきました。言葉で伝えることで、気持ちよく活動することができることに気がついたのでしょうか。今では、「それもいいね。」と、相手の考えに寄り添うこともできるようになってきました。

職員室に保管してある学習用タブレットを、いつも担任と一緒に取りに行っているDさん。Dさんの姿を見ていた他学級の担任の、「1人で取りに行けそうだね。」という提案から、こっそり後からついて行ってみました。すると、しっかり挨拶をして職員室に入り、タブレットを持ち帰ってきたDさんなのでした。「先生がいなくてもできるよ。」という言葉に、ほんの少し寂しさも感じつつ、頼もしく嬉しい気持ちになりました。

交流学級で、校外学習の事前学習をしてきたEさん。いちょう1組に戻ってくるなり、「読み方を書いてください。」と、タブレットを見せてきました。そこには、持ち物が書かれた学年だよりが表示されていました。「どうして？」と問うと、「自分で準備がしたいから。」という答えが返ってきました。振り仮名をふると、早速持ち物を確かめ始めたEさん。必要感をもって学習に臨み、主体的に活動しようとする意欲が伝わってきました。

初めてのことが少し苦手なFさん。「全校花笠、できるかなあ。」と不安に感じていました。そこで、皆と踊ることをゴールに、本番までの練習日程と一緒に確かめ、どのように活動していくか作戦会議をしました。例えば、6年生との練習も、1回目は体育館の入り口で観て学んでいたのが、2回目は一緒に踊りながら傘を回すコツを尋ねていました。メキメキ自信をつけ、本番当日も、朝イチに体育着に着替え、「いってきまーす！」と、教室を出発していったFさん。「楽しかったあ！」と充実した表情で戻ってきました。

担任が、朝の会スタート時に席を外していた時のこと。急いで教室に向かうと、今月の歌のメロディーが響いています。子どもたちから見えない所で、教室の様子をそっと伺うと…。なんと6人で普段通りに朝の会を進めていました。

おたずねの板書も、ご覧の通りです。

